就職活動応援特集

若手・中堅社員が語る

視野を広く、知識を深く

オリジナル設計
関西支店 大阪技術課
上田 知香子さん

■答えが無数にある仕事

コンサルタントを志した大きなきっかけは、大学時代に現役の水コンサルタントを講師に迎えた授業を受けたことでした。下水処理場の配置計画案を学生が一人ずつ検討するという内容でしたが、実際に手を動かしながらコンサルタントの仕事を体験してみて、処理場の配置計画一つを取っても「検討内容の着目点は人それぞれで、正解はない」ということに、奥深さを覚えました。

現在は主に、下水道管きょの設計を担当しています。こちらが提案した設計検討案と、客先である自治体の要望がうまくかみ合わず、手戻りが起きることもあります。客先との密なコミュニケーションを通じて、客先のニーズに応えつつ、視野を広げて技術的な提案をすることが大切です。

■先輩の姿が意欲の源

入社後数年間、私の教育係として指導してくれた先輩を目標としています。その先輩は仕事への幅広い視野を持ち、仕事のモチベーションも高い人です。入社時、隣の席で技術的な問い合わせの電話対応等の様子を聞いていて、私とさほど歳が変わらないのに知識量が段違いだと驚かされました。

電話対応は、あらかじめ準備して臨むことができる協議と違い、突発的で予想ができない内容の問い合わせもあるので、豊富な知識がないと対応できません。

知識を蓄えることは、国や専門機関から発刊されているマニュアルや指針をどれだけ熟知しているかにかかっていると思います。マニュアルの内容は定期的に更新されていくので、そのたびに学び直す意欲も必要です。

私は今年から技術士の受験資格ができて現在猛勉強していますが、資格の勉強で得た知識が実務にも反映され、相乗的に自分のスキルを向上させることができていると実感します。

■切磋琢磨しあえる環境

私が就活をしていて、オリジナル設計に決めた一番の理由は、社員同士で話している雰囲気がとてもよかったことです。実際に入社して仕事していてもただ仲が良いのではなく、お互いに刺激しあえる間柄でもあるのがポイントです。休み時間に他の若手社員の仕事の話を聞いた時に、その業務について「自分だったらどうするだろう」と考えてみることも、成長の機会になっています。また、会社としても若手をバックアップしながらもやりたいようにやらせてみるという方針があるため、若いうちから鍛えられる会社です。

まちの将来見据えた事業

NJS
九州総合事務所
プロジェクトマネジメント部
谷裏 史洋さん

■お客さまの目線で

お客さまである地方自治体の考えをくみ取り、図面に適正な仕様や設備の導入をまとめた設計を行うのが私の仕事です。

コンサルタントというと難しいイメージを持つかもしれませんが、「計画」と「設計」の業務から成るお客さまと現場の意見をつなぐ相手役というのが分かりやすいと思います。

このうち私が携わる設計は、下水処理場などの新設・更新に伴う実施設計がメインとなります。会社の中で設計図を引いていると思われがちですが、実は現場を重視する仕事でもあり、ヒアリングや調査を通じて得た情報はお客さまの課題を解決する提案につながります。

私たちは現場を正しく理解することで、お客さまに最善を届けることを大切にしています。

■教えが自信に

当社の新入社員は、OJT制度に基づいて入社3年程度までは先輩社員とタッグを組んで業務に当たります。私は入社4年目ですので昨年度まで同様にOJTで経験を積み、今年度から一人で設計業務を任されるようになりました。私自身、年間10件程度の業務をOJTで取り組んできましたが、一年目の成果発表会や現場調査などを含め、山あり谷ありの連続だった記憶があります。

しかし、どんな時も傍で見てくれる先輩からのアドバイスは心強く、経験則を交えて頻繁に教えてくれていたのは、新人教育を大事にする当社の社風かもしれません。

自分の目で現場を見ること、業務の中で段取りが大切なこと、謙虚さを常に持つことなど、さまざまなことを教わりました。今は、自ら進んで良い成果品を納める努力をしていますが、OJTの経験が独り立ちした私を支える財産として生きています。

■技術を伸ばす

当社は、「新しいことに挑戦する姿勢を強く持った会社」として、コロナ禍以前からワークライフバランスを推奨する制度の導入といった「先を見据えた働き方改革」を常に意識してきました。

近年は、土木、建築、機械、電気のコンサルティングに加えて、ソフトウェアの開発などにも積極的に力を入れており、「技術を伸ばせる会社」としての一面もあります。創業以来60年余り、上下水道の整備と水と環境を支えることを信念としているからこそ、向上心と技術力の両輪で日常生活の安全確保に向けたチャレンジを継続し続けています。1を10にするように、コンサルタントという観点からまちの将来を見据えた事業提案を共に行ってみませんか。

公園を陰で支える仕事

荏原実業
東京支社 主任
池田 祥也さん

■景観を守る仕事

私は、岩手県盛岡市出身ということもあり、幼いころから自然は身近なものでした。自然に携わる仕事がしたいと思っていた中で、当社は環境を事業にしており、商社・メーカー・エンジニアリングと三つの顔を持っているため、多方面で活躍できるのではと思い、入社を決めました。

入社当時から官公庁向けの営業と施工管理業務に携わって、今年で7年目になります。現在は、主に東京都23区内の公園等の水景設備を担当しています。水景設備とは、公園に設置されている噴水やせせらぎなどで使われる循環・ろ過設備やポンプなどを指します。

当社の開放型強制生物ろ過装置である「水芭蕉」は、地上型・埋設型・池内型とあらゆる設置条件に対応できるため、機能性だけでなく景観を損なわないアメニティー空間も演出できます。都内でも親水公園などに多数導入されています。

■正確な把握力

私の仕事は、お客さまである区役所の担当者から、水景設備の補修・更新などの工事の依頼を受けることや、提案するところから始まります。お客さまから公園の設備状況を聞き取り、くみ取ったニーズを社内の設計担当者と打ち合わせをして、設計図が完成します。その後は、見積書作成・入札などを経て現場がスタートしていきます。現場代理人として納期管理・工程管理・現場進捗状況を確認することや、工事完了後のアフターフォローまでの一連の流れを担当します。この業務は、お客さまから現場状況や希望する設備、内容を細かく聞き、ニーズを的確に把握したものを、相違ないように社内設計者に伝え、打ち合わせを重ねていくことが重要になります。実際に自分が携わった設備によって、公園に行った際に区民が喜んでいる姿を見られることにやりがいを感じていますね。将来的には、東京都23区以外の水景設備にも携わってみたいです。

■実践を通じて学ぶ

当社は、入社1年目から実践を通じて学ばせてくれる環境が整っているため、営業だけでなく修繕や工事を担当することができます。私自身も先輩たちからのフォローを受けながら成長することができました。

現在担当している工事は、私からお客さまに「ここのポンプを更新した方が良いのではないか」と提案したことから始まりました。現場状況を把握した上で「一度言ってみる・やってみる」ことが重要だと思います。

学生の皆さんも、何ごとも恐れないチャレンジ精神を持ってほしいですね。ぜひ当社で一緒に切磋琢磨していきたいです。